

北海道知事 高橋 はるみ 殿

【要 請 書】

道民の安全・安心を守るため、
泊原発3号機の営業運転再開を
絶対に認めないよう求めます。

北電は8月9日、電力の安定供給を理由に、泊原発3号機の最終検査を8月10日に希望するとの申請を国に行いました。

しかし、北電は、電力の需給見通しについて、道民が理解できるような情報公開を行っておらず、福島第一原発事故の知見も反映されていません。このような最終検査申請が、道民に納得を得られないことは明白です。

知事が、原発の縮小・廃止を願う多数の道民の願いにこたえ、北電に国への最終検査申請の撤回をもとめるよう強く要望します。

【要請欄】

福島原発事故が及ぼした放射能被害は、当地の問題だけではなく、日本全土はもとより、全世界へも大きな影響を与えるものです。そしてそれは、まだ収束しておらず現在進行形であるとともに、放射能汚染は時間の経過とともに食物連鎖等に深刻な影響を及ぼします。原発の安全神話が崩壊した今、日本の電力会社をはじめ、行政の取るべき方向は原発依存ではなく、自然・再生可能エネルギーへの政策の転換です。

日本の未来、そして子供たちやその子孫に対する今を生きる私たちの責任として、北電に対し、申請の撤回を求めるよう要請していただくことを要望します。

2011年8月11日

団体名 生協労組おかやま

代表者名 委員長 坂本 浩



連絡先 岡山市南区藤田564-178 TEL 086-296-5174

北海道電力株式会社

代表取締役社長 佐藤 佳孝 殿

【抗議文】

泊原発3号機の最終検査申請は 即時撤回せよ!

貴社は8月9日、電力の安定供給を口実に、国に対し泊原発3号機最終検査を8月10日に希望するとの最終検査申請を行った。

貴社の行為は、「安全・安心」を強く願う広範な道民要求を踏みにじるものであり、断じて容認できない。電力の需給見通しについて、道民が納得できるような情報を公開せず、包み隠すことは到底許されない。

貴社の最終検査申請に厳しく抗議し、その撤回を求める。

【要請欄】

福島原発事故を経験した日本の電力会社の責任は、日本の将来への安全と子供たちやその子孫に対する安全を完全な形で保障出来る電力供給手段をこそ実現することである。今回の貴社の行動は、その責任を全うできる覚悟を持っているのか！貴社の行動は、まさに目先の利益と経済活動を優先した、将来への責任を放棄するものと言わざるを得ない。さらに、原発稼働を必要とする電力需要や安全性の問題についての説明責任すらも果たしていない。

こうした貴社の姿勢を踏まえ、我々は泊原発3号機最終検査申請を到底認めるわけにはいかない。即時撤回を要請する。

2011年8月11日

団体名 生協労組おかやま

代表者名 委員長 坂本 浩



連絡先 岡山市南区藤田564-178 TEL 086-296-5174